

令和4年度北海道防災総合訓練の実施結果について

1 訓練日程等

日程・地域	参加市町村等	
第1期 8月6日（土） 渡島・根室振興局管内 6市町	メイン会場	参加市町村
	函館市 七飯町	森町、北斗市、別海町、根室市
第2期 8月27日（土） 胆振・日高・十勝 釧路振興局管内 19市町村	メイン会場	参加市町村
	伊達市 白老町	室蘭市、豊浦町、苫小牧市、登別市、洞爺湖町、壮瞥町、厚真町、むかわ町、豊頃町、釧路町、釧路市、厚岸町、浜中町、白糠町、標茶町、弟子屈町、鶴居村

※その他、小樽市・江差町において物資輸送訓練のため港を使用

2 主催

北海道防災会議

3 参加機関等

計70機関 約1,450人（市町村・参加住民を含む）

（公的機関：北海道警察、陸上自衛隊北部方面隊、北海道開発局など
民間企業等：NTTドコモ、北海道電力、北海道エアポートなど）

4 訓練内容等

〈訓練想定〉日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に伴い、太平洋沿岸地域に巨大津波が発生

項目	主な内容
情報伝達・収集 訓練	○防災情報システム等複数の伝達手段を用いた情報伝達 ○ヘリ・ドローンによる情報収集や空撮映像の伝送
住民避難訓練	○津波浸水域や津波到達時間等を想定した避難
避難所運営訓練	○防災講話（日本赤十字北海道看護大学教授根本昌宏氏） ○段ボールベッド等組立体験
広域避難訓練	○高速道路等を使用し、バスによる近隣への一時避難
物資輸送訓練	○国からのプッシュ型支援物資を想定した輸送 ○ドローンによる物資輸送
医療救護訓練	○DMAT、救急隊による傷病者の応急処置及び搬送 ○エクモ（体外式模型人工肺）カーの活用

※新型コロナウイルス感染症の影響及び天候不良のため、一部訓練を中止

5 今後の対応等

- 避難訓練に参加した住民は、事前に津波浸水域や津波到達時間を意識した上で訓練を実施した。
- 有識者からの外部評価や訓練参加者からのアンケート結果等を踏まえ、防災・減災対策の充実・強化等に反映していく。